三十日夕刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊(日曜、祭日)休刊

澄み切つた秋空の下 明朗な兒童の跳躍
昨日磐中グランドで 参加少年選手千數百名

(既報)縣体育協會石城支會主催の郡下小學兒童陸小競技大會は片雲だに見えない絶好のスポーツ日和昨二十九日午前八時から平町磐中グランドで開催参加小學四十余校の兒童選手千數百名未曾有の大盛であつたが、當日の戰績は次の如くである。

▲フキールド

六男、走高阿部幸夫(内郷二〇)一、三三A、高二男走高、荻野高(小川)一、五二、高一男三段飛 石川久太郎(四倉)一〇、〇五、五男走巾伊藤源兵衛(川部)四、二二、五女走巾大木アサ(大浦)三、七五、高一女ボール投大井川ハナ(磐崎)二三、七四、六女走巾正木千鶴子(平二)四、二三、高二女ボール投 鈴木彌壽子(大浦)二三、二二、高二男ボール投星一男(錦)二九、二八、五男ボール投佐藤木(平一)一九、七五、尋五ボール投小野瀬ツギ(入山)八、四三、六女ボール投北村琴子(平二)二〇、六六、六男ボール投田中忠太郎(平一)二九、〇八、高一男ボール投吉田昌吉(平一)二七、六三、高一女走巾今田操(平二)四、二七、高二女走巾富田貞子(平二)四、四〇

▲トラック

高一男二百米松本義正(草野)二八、八秒、高二男同菅野勇(内郷)二八秒、五男百米久保木清次(平三)一四、八秒、六男同鈴木國雄(内郷高)一、三六秒、高一女百米高野ヒロ(平二)一四、四秒、高二女同小野トモ(川部)一四、七秒、六女同中村シゲ(平二)一四、八秒、五女五十米北郷春江(植田)七、七秒、六男ハードル瀬谷政行(大野第一)九、七秒、高一男同渡邊粂六郎(湯本)一三、三秒、高二男同木下勉(内郷高)一二、六秒、五女四百リレー長瀬キミ、飯塚さと、大木あさ、渡邊イノ(平二)一、〇四分、五男同安富次男、坂内清、安齊定義、小室義夫、(内郷三)一、一七分、高一女高野弘子、中村春子、今田操、古川セイ(平二)一分、高二女吉村富枝、矢島ノブ、富田貞子、富田久子(平二)一、〇二分六女同中村茂、鈴木富、北村琴子、蛭田カヨ(平二)一、〇九秒、六男六百リレー鈴木國雄高橋二次、遠藤正明、鈴木友二(内郷高)一分三一秒七、高一男八百リレー佐藤喜一、塚本慶治、古市英雄、先崎清一(平一)二分四秒、高二男八百リレー瀬戸利雄、吉田久、井上明、石川利夫(平一)一分五五秒六、以上

新記録の大半は 平校獨占の形

別項大會當日の新記録は次の如くで、さながら平小學校獨占の形で壓倒的成績を示したが何れも記念優勝メダルを授與された括孤内は舊記録

高一女百米高野弘子(平二)一四(一四、六)、六女走巾正木千鶴子(平一)四米二三、五(三、八八)、高二男同荻野高(小川)一、五二(一、四五)、六男ボール投田中忠太郎(平一)二九、〇八(二八、五三)、六男百米鈴木國雄(内高)一三、六秒(一三、九秒)、五女四百リレー(平第二)一、〇四分(一、四一)、高一女四百リレー(平第二)一分(一、一〇)以上

政友大會
井上氏常任に 關内氏代議員に

昨二十九日福島市に於いて開かれた政友東北大會に石城政友部會から木村部會長、金成上院議員、佐藤、鈴木兩代議士以下出席したが、支部役員改選の結果縣議井上茂作氏は支部常任幹事に、關内正一氏は縣議鈴木英亮氏と共に本部代議員に推された

磐陽野球大會
入山、磐炭勝ち殘る 決勝は來月三日

磐陽野球聯盟主催第六回濱三郡野球大會は既報の如く昨二十九日午前十時から湯本、入山、内郷(磐炭兩球場)で開催秋空の下に熱球憂飛ぶ壯絶な激戰を展開した。

第一回戰

湯本	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3
高月	0	4	0	6	0	0	0	1	A	11A

平	2	0	0	0	0	0	0	2
磐炭	0	1	3	3	0	2	6	15

コールドゲーム

第二回戰

高月	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
入山	5	3	0	1	1	1	0	0	A	6A

磐炭	4	3	4	0	0	0	2	0	0	13
古河	2	0	0	0	4	0	1	0	0	7

尚決勝戰は來る十一月三日磐中グランドで入山對磐炭の兩强豪チームが覇を爭ふ事になつた。

▲記者團再敗 植田遠征を決行した平記者野球部は全植田と對戰五對四で惜敗した。

兇暴性の白痴で 怪魔少年釋放さる
相馬訓陶院で入院拒絶 身柄實父に引渡さる

湯本怪事件の犯人湯本町字長之口入山炭礦第四坑々夫佐藤竹太郎二男正吉(假名一五)は去二十五日平檢事局に送られ清田檢事係りで嚴重取調中であつたが正吉は性來の白痴症らしいので大森氏の精神鑑定を求めた結果精神能力は滿八歳程度で一應取調の結果遂に不起訴處分に決定相馬訓陶院に入院せしむべく同院に交捗したが兇暴性を有するからとの理由により拒絶されたので二十八日午後實父竹太郎を召喚自宅に監禁部屋を設置して監視するか若くは精神病院に入院せしむる事を條件として釋放身柄を實父竹太郎に引渡した。

盤上熱火の鳥鷺戰 昨日棋仙の集ひ
一等は平赤羽清氏

石城圍碁界唯一の登龍門とも言ふべき平町南町川井内科醫院長川井貫之氏主催第六回「棋仙の集會」は既報の如く昨二十九日午前九時から同氏宅樓上で開催磐炭事務部長濱崎善三郎氏一級を始め郡内碁界の天狗連二十二名出席山崎二級を東軍主將、濱崎一級を西軍主將として東西二軍に別れ盤上熱火の鳥鷺戰は遂に東軍に凱歌擧つた 當日の入賞者は

▲一等赤羽清(平)二等御代定吉(小名濱)三等鈴木疑平(湯本)四等赤津修一(勿來)五等平川喜久也(江名)以上の中主催者川井氏は四勝入賞資格を獲得したが辭退棄權した

▲五人抜額贈廣次(水戸)白土賢隆(好間)佐々木芳一(磐炭)以上審査の結果一等入賞の赤羽清氏は新四級に、佐々木芳一氏は新三級に各れも昇級決定した

趣向凝らして太夫連
思ひやられる明日の祝賀

平署の戰勝祝賀會も愈々明日に迫つたので横山署長以下準備に忙殺されてゐるが、當日は署員六十九名の外來賓井上、野崎、荻原、草野、石川縣議、青沼平町長以下四十五名の招待者を加へ合計百十四名に達する大祝宴で署長の率ゆる横山大一座の太夫連も明日こそ妙技珍技の大籠演で參會者の腹の皮を捻らせ樣うと趣向を凝らしてゐるから當日の盛況も想像される。

磐中、平商 庭球惜敗

全國の制覇目差して勇躍神宮大會に出場した本縣代表磐中、平商校庭球選手はダブルス、シングル共に惜敗泪をのんで覇權を逸した。

桑園改殖
實施協議會

平蠶業取締支所管内の蠶業技術員會議は明三十一日午前九時から平支所會議室で開催農村匡救桑園整理改殖實施に關する協議をするが、郡內現在の堀起反別は六十四町四畝歩、總額四千八百三十二圓二十五錢、改殖は十四町七段九畝、二千二百十八圓五十錢である。

幼兒大火傷
爐に落ちて 今朝死亡す

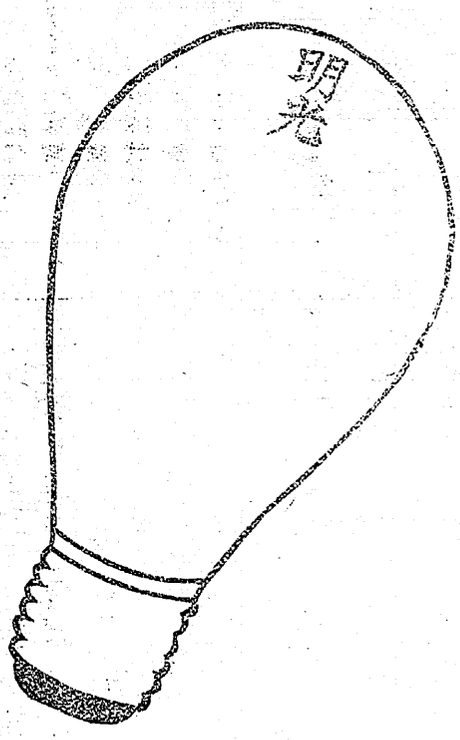
高久村字下高久農馬場正廣二男一廣(二ツ)は二十八日午前八時頃母トシが臺所で炊事中寢床から這出し爐の中に轉落煮沸してゐた味噌汁鍋をかぶつて全身大火傷を負つたので平町木村病院に舁ぎ込み應急手を加へたが今三十日午前八時頃遂に死亡した

全國圖書祭週間
十一月一日より七日迄
良書空前の大特賣
購求の絶好期
即刻御申込を乞ふ
(目錄當店にあり)
マルトモ 柴田書店
福島縣平町四丁目
電話二三四番五九七番

▲入山敬老會　入山炭礦では二十九日從業員家族中七十歳以上の高齢者を山神社に集め祈願の後木杯を贈り自治會館に於て敬老會を開き慰安したが高齢者四十名であつた。

▲入山菊品評會　入山炭礦從業員より成る入山薫秋會主催菊花品評會は十月二日から九日まで自治會館に開くが出品は吉田所長自慢の作品以下三百鉢である。

取消。　二十七日「自動車詐欺」と題する記事中相違の点あり申出により全文を取消す。



二葉印刷所
平町仲町・電話一九三番

牛豚肉
平町田町
三二三屋
電話三二三番

御土産用
石城名産
やなぎ
いか鹽から
鰹鹽から
鰹節
御進物用として品質を吟味し体裁優美に包装し廉價で販賣致します、多少に拘はらず御用命下さい。
平町土橋
仙鈴藏魚店
電話六六二番

産科
婦人科
午前宅診
午後往診
平町字仲田町
井坂醫院
電話五五九番
◎入院隨時
◎自炊の便あり

外交員募集
委細御來談下さい
平町田町
小川洋服店
電話五七〇番

松島名産
美味と滋養で名高い一の井の
カキ貝
御料理
獨特
カキフライ……廿五錢
カキナベ……四十錢
スカキ……廿五錢
一の井
電一六七番

ガス入電球ノ値下グニ
次グ又値下グ
十燭以下十二錢……五十燭マデ十八錢
—（御電話ガアレバ届ケマス）—
平三
大谷時計病院
眼鏡科
電話十九番
店員
女中
大至急募集
（年齢十五歳前後）

待望名畫◇瀧の白糸◇前後篇全部上映公開
原作……（文豪）……泉鏡花
◆入江たか子・岡田時彦・村田廣壽・浦邊粂子◆
◇下の指輝
出町神導く
づ情技に最
べ緒と本高
く物名年峰
し・匠度絶
て然・第對
出も口一白
で・監級眉
ざ待督名篇
り望の畫
し熱心と
入し魂し
江てを
た岡傾燦
か田注と
子時せし
の彦るて
◇……篇眉白對絶峰高最く輝
嵐寛壽郎・歌川八重子・淡路千夜子
錢形平次捕物奇談
富籤政談
全十三券
◆右門に代つて登場する錢形平次十八番手柄である……
戰慄……怪奇……大情炎地獄
十月二日ヨリ
二日・三日・晝夜（普通席）
四日・五日・二回（三〇セン）
世界館
電466

外科
花柳病科
專門
平町六丁目橋
木村外科醫院
電話三〇九番

味覺をそゝる涼風の秋が訪れました
—料理は大貞—……
と皆々樣から御贔負を頂いてをります
値段は何れも他で出來ぬ安價
是非御立寄りの程を
御待ちしてゐます
御料理
大貞
平・田町
電話四三
御宴會などは
御意に從ひ如何
樣にも御相談
申し上げ精々
御便宜を
計ひます